

栃事研究会報

第76号

栃木県公立小中学校事務職員研究協議会

編集発行人 岡崎 信二

主な内容

新旧会長あいさつ 他	1
新旧副会長あいさつ 他	2
専門部紹介	3
事務局紹介・栃事研からのお知らせ…	4
HP アドレス http://tochijiken.org/	

会長あいさつ

栃事研会長 岡崎 信二



5月31日の総会におきまして、会長という重責を担うことになりました。大橋前会長をはじめ歴代会長のご尽力のもと、着実に発展、成長を遂げてきました栃事研を引き継ぐ重さをひしひしと感じております。私の力量ではとても担い切れるものではありません。

会員の皆様お一人お一人のご支援、ご協力をいただきながら各種事業を推進してまいりますとともに、これからの栃事研の基盤づくりを目指したいと思っております。総力を挙げて取り組みますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、東日本大震災は被災なされた方々はもちろん、直接的な被害を受けなかった人たちにも大きな衝撃を与えました。これまで築き上げた安全安心の仕組みがこんなにもろく崩れるとは、情報化社会がいと簡単に崩壊するとは思ってもみませんでした。現在復興に向け様々な対策が講じられておりますが、学校におきましても安全安心な学校づくりに向け新たな対応が求められています。教育活動支援や教育環境整備を中心的業務とする学校事務分野が良い意味で見直され、新たな学校事務の型、可能性が生まれてくることが期待されます。本年度栃事研は創立50周年を迎えます。1月には関東地区学校事務研究大会を主管いたします。これを機に、これまでの50年で得た成果と課題を踏まえ、これからの50年に向け、新しい一歩を踏み出す記念の年にしていきたいと思っております。

それには、会員の皆様と共に手を取り合い、力を合わせて「とちぎの学校事務」創造に向け取り組んでいくことが不可欠です。その過程では様々な壁を越えなければならないと思いますが、明確な目標設定、確実な実践と組織的な支援により必ず乗り越えられます。従来のスタイルから、意識の問題から抜け出せたとき学校に不可欠な職としての未来があると考えます。未来へ向けてもう少しだけがんばってみませんか。栃事研役員一同よろしくお願いいたします。



会長退任あいさつ

前栃事研会長 大橋 利昭

会長を退任するにあたり、一言ごあいさつとお礼を申し上げます。

会長として、大してお役に立てず、至らぬ点多々ありましたが、4年間どうか務められたのも支部長や理事の皆様、監事の皆様のご支援、ご協力をいただくとともに、微力な私を支えてくれた、栃事研の優秀なスタッフのおかげであると改めて感謝し心よりお礼を申し上げます。

さて、栃事研の活動をとおして様々な方々との出会いがありました。これは素晴らしい発想との出会いでもあり、子どもの豊かな育ちを支援するために大いに考え議論することができました。このような感動は人生の中で何度も味わえるものではありません。本当にありがとうございました。

結びに、新会長として足利市立山辺中学校事務長の岡崎信二氏をご承認いただきましたが、様々な経験を重ねられた素晴らしい方です。

栃事研も50周年を迎え関プロを主管しますが新会長の幅広い知識と見識、そして豊富な社会経験が活かされますことと、会員の皆様の絶大なる支援とをお願いし、退任のあいさつとさせていただきます。

副会長あいさつ

新任のあいさつ

新副会長 吉田 崇

このたび副会長を仰せつかりました吉田です。栃事研との関わりは、もう何年前なのかも忘れてしまったくらい前に、調査部でお世話になって以来です。本年度は栃事研50周年という大きな節目の年です。関ブロ栃木大会という大事業も控えています。そんな中、今日からどれだけ皆様のお役に立てるのか不安なのですが、会員の皆さんや役員の皆さんに支えていただいて、なんとか役割を果たしていければと思っています。「何のために、何を、どうすればよいのか。」特に「何のために」を意識して取り組んで行きたいと思えます。もとより微力ではありますが頑張りたいと思えますので、どうぞよろしくお願い致します。

新任のあいさつ

新副会長 仁平 昭

栃事研の皆様 こんにちは。今年度の総会で、副会長に選出されました 仁平 昭です。栃事研と私の関わりは、今から30年ほど前に専門部の研修部員として2年間ほど研修に携わりました。その後、昨年は理事として1年間務めさせていただきました。先日は、初めて栃事研の合同専門部会に出席しとても緊張しました。各専門部長さんが熱心に取り組まれている姿を見て、私の責任も重いかなと感じました。

今年度私は、事務局担当の副会長として、効果的効率的な会務運営に努めていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。

お世話になりました。

前副会長 川口茂子

平成23年度の総会におきまして、副会長の大任を退くことになりました。副会長として1年目は総務部、2年目は調査部担当として係らせていただきました。栃事研役員・部員の皆様や会員の皆様のご指導、ご協力をいただきまして、無事に務めることができました。改めて感謝申し上げます。

栃事研におきましては、関ブロ栃木大会並びに創立50周年記念事業が今年度実施されますので、一会員として参加・協力をさせていただきたいと考えております。大変お世話になりました。ありがとうございました。

平成23年度 栃事研研修会並びに総会

平成23年5月31日(火)、平成23年度栃事研研修会並びに総会が宇都宮市文化会館小ホールにおいて開催されました。

総会では昨年度の事業報告、決算報告及び本年度の事業計画、予算案について審議を行い、つつがなく承認されました。役員改選では、栃事研副会長4年間、会長4年間の長きにわたって栃木県の学校事務のために尽力された大橋会長が今年の総会を最後に会長を退任することになり、新会長には岡崎信二副会長が就任されました。

引き続き行われた研修会では、平成24年1月に開催される「第43回関東地区学校事務研究大会(栃木大会)」樋口実行委員長から大会の進捗状況についての報告、研究発表する栃事研研究部と上都賀支部から分科会提案の概要について説明があり、最後に『「とちぎの学校事務ビジョン」の概要』について、岡崎新会長から説明がありました。

専門部紹介

1. 研修会の企画

(1) 第9回栃事研セミナーの企画

8月19日(金)パルティで開催「情報管理マネジメント」

(2) 関ブロ栃木大会及び創立50周年記念研修会の企画

～CanからDoそしてAction!新しい時代の学校事務へ～

2. 研修の体系化

(1) キャリアステージに応じた内容の研修体制

(2) 県・支部・市町・会員が一体となり人材育成をするシステム

(3) 各研究団体との研究交流に基づく人材育成に重点を置き検討する。

第1回部会では、それぞれのチームの課題解決に向けて、どうすれば達成できるか、達成するためにはどんな作業をしていたら良いかなど協議し、これからの活動を確認し合いました。

研修部

今年度の研究部は、

21年度からの不動のメンバーに加え、

新たに1名が加わり、総勢9名により活動しています。

今年度は、何といたしまして1月に開催されます「関東地区学校事務研究大会栃木大会」での分科会提案です。研究発表をすることはとても大変なことです、終わった後の充実感は何ともいえないものがあります。全ては「とちぎの子どもたちのために」この熱い思いを一人一人が胸に抱きながら、今年度も「チェンジ」「チャレンジ」をスローガンに部員一丸となって研究を進め、まとめているところです。

栃木の事務職員が、よしっ!!頑張るぞ!!と思えるような提案ができるよう、担当副会長の吉田副会長を筆頭に、抜群のチームワークで研究に邁進していきたいと思っておりますので、御指導・御支援をよろしくお願いいたします。

研究部

今年度、調査部は「学校事務研究資料'11」の発行と

「栃事研創立50周年記念誌」発行に向けて頑張ります。

アンケートや各種調査などで、会員の皆様をお願いすることもたくさんあると思います。その大切な資料・正確なデータを提供し、会員の皆様、支部・市町を含めた研究・研修活動の充実支援に活用していただけるよう心を込めて作成します。

また、栃事研創立50周年という記念すべき年を迎え、諸先輩方の半世紀という長い歴史を、全会員の皆様に残していく資料を作成しています。

どうぞよろしくお願いいたします。

調査部



平成23年度の事務局の紹介をします。

事務局は、理事会をはじめとする各会議や研究大会、研修会の準備運営や関係諸団体との連絡調整を行う総務部、栃事研の予算のつかさどる財務部、

そして会報や栃事研のHPの管理など広報活動を行う広報部の三本の柱で、栃事研の活動を支えています。また、本年度は第43回関東地区事務研究大会栃木大会、そして栃事研創立50周年の記念大会の開催に向けて、それぞれの分野で大会の成功に向けて着実に準備を進めているところです。

事務局は仁平担当副会長さんをはじめ、栃木県内の各地区から部員として協力して下さる総勢27名（今年度は若手7名を迎えました！）で活動を行っています。

私たちは、広く会員の皆様のニーズに答えるべく、また「とちぎの学校事務」の構築に貢献するために一つ一つの活動に取り組んでいます。会員の皆様方からの声私たちが道しるべとなりますので、どんなご意見でもご要望でも結構ですので、お近くの事務局員にお声掛け下さい。もちろん励ましの言葉は活力の源となります！！

ご支援ご協力どうぞよろしく申し上げます。

	5	全事研セミナー	期日 平成24年2月17日（金） 会場 埼玉県川口市
	4	第43回関東地区事務研究大会	期日 平成24年1月26日（木） 会場 栃木県宇都宮市
	3	第43回全国公立小中学校事務研究大会	期日 平成23年7月27日（水） 会場 鳥取県鳥取市
	2	栃事研セミナー	期日 平成23年8月19日（金） 会場 パルティ
	1	新加入会員等研修会	期日 平成23年8月12日（金） 会場 栃木県学校生協会館

栃事研からのお知らせ

編集後記

「古代ギリシャの時代から、“人生は素晴らしい”とあからさまに声に出して言う事が劇場の仕事なんです。」と、劇団四季の代表である浅利慶太さん自ら話されているように、台詞と歌詞の中には沢山の大切なメッセージが込められています。私が『ユタと不思議な仲間たち』を観劇した時に、劇場近くの喫茶店で書きとめたメモが今も残っています。今でも自分に大切なことを伝えてくれているようです。

『ユタと不思議な仲間たち』より（引用）

「人間はみんな、小さな石ころみたいな物を持っていて、いかに磨きをかけるか、それが人生なんだ。だれだって、自分にしか出来ない事をやる為に生まれてきた。

それが何なのかは、あせらずにゆっくり探せばいい。

生きているだけですばらしい事なんだ。だれだって自分の中に、勇気をもっている。」